

TOKYO働き方改革宣言

社員の働き方改革に対する意識を高め、残業時間の短縮化、有給休暇の取得率の向上に全社的に取り組みます。

平成29年3月14日

株式会社 キュー・システム

目標

《働き方の改善》時間外労働時間、月平均22時間以下を目標とします。スキルの高い社員に偏りがちな長時間労働を、経験の浅い社員の教育訓練等の実施を充実させて残業時間の平均値を低くする努力をします。

《休み方の改善》有給休暇の取得率の向上に取り組みます。

取組内容

《働き方の改善》社員の実務経験により、長時間労働を余儀なくされる場合があります。経験の浅い社員の教育、研修等を徹底して、偏りがちな残業時間の分散を検討します。フレックス制をさらに充実、整備させ、残業時間を平均的に減少傾向となるように運用します。

《休み方の改善》繁忙期を年間、月間、週間と細かく分析し、比較的の有給休暇を取りやすい時期を割り出し、有給休暇の取得率の向上に取り組みます。あらかじめ、記念日(誕生日、結婚記念日等)を有給休暇と設定し、休みやすい環境にします。